

わたしたちの 働きかた 2019

働き方改革通信
令和元年7月18日

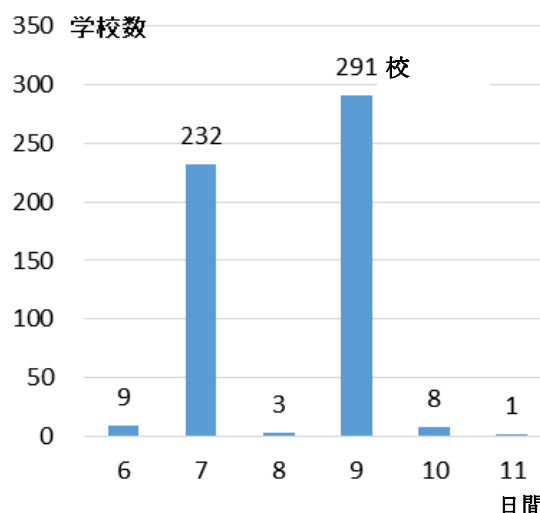
発行：長野県教育委員会
(義務教育課)

「学校リフレッシュ・ウィーク」平均 8.1 日間

県内すべての小・中・義務教育学校で実施

6月に小・中・義務教育学校を対象に実施した「学校における教職員の業務改善に関するアンケート調査」の結果、本年度の夏季休業では、全ての学校で「学校リフレッシュ・ウィーク」が設定されていることが分かりました。日数は右のグラフのようになっています。9日間、設定している学校が最も多く、最長で11日間という学校もありました。

また、ウィーク中の緊急時の第1報については、約83%の学校から市町村教育委員会や市町村災害対策部局等で対応するとの回答がありました。



「学校閉庁日」とは

県教育委員会では、「勤務を要する日において、日直等をおかない日」と定義し、昨年度より、設定をするように、はたらきかけています。

なお、「勤務を要する日」であるため、年休等の措置が必要です。

長期休業期間中に学校閉庁日を設定することについて

◇「学校における働き方改革の推進に向けた夏季等の長期休業期間における学校の業務の適正化等について」（令和元年6月28日・文部科学省通知）

- ・教師が確実に休日確保できるように、（中略）長期休業期間における一定期間の学校閉庁日の設定などの工夫を行うこと。

本年度も市町村教育委員会や各学校の取組等をカイカク係にお寄せいただき、ありがとうございます。

次号では、投稿していただいた学校の取組を紹介します。

ご意見・ご感想等がございましたら gimukyo@pref.nagano.lg.jp（カイカク係あて）へお願いします。

